

# 農業用の燃料タンクの維持管理について

近年、農業用ハウス等で使用する油類の貯蔵タンクから油が漏れ、河川等へ流出する事故が発生しています。油漏れの事故は火災発生危険のほか、土壌や水質汚染により自然環境や周辺地域に悪影響を及ぼします。また、流出油の回収は大変難しく、回収作業に莫大な費用がかかり、これに要する事故処理費は原因者（事故を起こした者）の負担となります。

維持管理を徹底していただき、事故防止に努めてください。

## <維持管理に関する注意事項>

- ・タンク及び配管は、腐食防止のため、定期的に塗装する。
- ・配管やフレキシブルホース等に損傷、腐食があれば取り替える。
- ・防油堤内の雨水等は随時排出し、排出時以外はバルブを必ず閉めておく。
- ・防油堤内に不要なものを置かない。
- ・使用量と給油量を定期的に確認する。
- ・万が一油が漏れた場合は、直ちに消防署に通報する。

配管には腐食防止措置（塗装等）をしてください。腐食した配管は取り換えてください。



地面や防油堤に接して配管を敷設すると、地震等により損傷する恐れがあります。



防油堤内に不要物があると、油が漏れたときにあふれてしまいます。



雨水を排出しないと、油が漏れたときにあふれてしまいます。



裏面「主な設置基準」もご覧ください。

<主な構造・設備の基準>

- ① 配管は金属管等耐熱性を有する材料で造る。
- ② タンクや配管は、腐食防止のため、塗装をする。
- ③ タンクは、地震等により転倒しないように固定する。
- ④ タンクの見やすい位置に液面計を設ける。
- ⑤ タンクの配管には、タンク直近の位置に元バルブを設ける。
- ⑥ タンクと配管の接合部分は、地震等による損傷を防ぐため、フレキシブル管を使用する。
- ⑦ 防油堤はコンクリート・ブロック等で造り、当該タンク容量以上の容量とすること。
- ⑧ 水抜口にはバルブを付け、通常時は閉めておく。
- ⑨ 標識及び掲示板を設ける。
- ⑩ タンクの周囲に1 m以上の空地を保有する。

※ 配管は、防油堤を貫通して設置することは認められません。また、地震等による損傷を防ぐため、直接地面に触れないように敷設してください。

